

令和7年度「地域連携推進会議(施設訪問)」の実施について

1 日時：

令和7年9月25日(木) 14:00～16:00

2 場所：

コロニーにいがた白岩の里 管理棟 第一会議室

3 出席者

所属	地域連携推進員
寺泊地区民生委員・児童委員協議会	地区会長 米谷 勝
港町町内会	町内会長 渡辺 真一
長岡市立寺泊小学校	校長 小林 剛
越路ハイム地域生活支援センター	相談支援専門員 五十嵐 裕美
	相談支援専門員 竹内 朝子
地域包括支援センターわしま・てらどまり	相談員 筒井 志帆
長岡市福祉保健部福祉課障害支援係	係長 小黒 恵美
	主事 小池 茉央
事務局	
所長	堀池 愛子
児童部長	和田 裕
成人部長	上山 亨弘
高齢期更生・重複更生部長	桑原 恵子
総務課長	塚越 強
企画調整・事業推進室長	石黒 元太郎
企画調整・事業推進室	加野 美里
企画調整・事業推進室	宮下 友樹

4 議題

(1) 地域連携推進会議について

地域連携推進会議の概要や実施の目的について共有を行いました。

(2) 施設訪問

コロニーにいがた白岩の里の施設全体と児童部、成人部、高齢期更生部、重複更生部それぞれの利用者の状況や一日の流れ等を説明・共有しました。

(3) 施設訪問

施設訪問の目的とポイントを確認し、2グループに分かれて施設訪問を行いました。

(4) 質疑・意見交換

施設訪問を通しての意見や質問等を確認しました。

【地域連携推進員からの意見】

施設環境

- ・コロニーは暗いイメージがあったが、広くて明るい場所だというのが印象的だった。
- ・児童部と高齢期更生部では雰囲気が大きく違っていたが、利用者の方がにこやかに迎えてくれた。たくさん話しかけてくれた。
- ・施設内は居室も家具もきれいで、施設の管理をしっかりされている印象だった。

利用者の支援

- ・言葉でのコミュニケーションが難しい方も、その方なりのコミュニケーション方法があることを職員が理解していた。
- ・目に見えない部分も配慮して、利用者の方に接していることがわかった。

職員の働き方

- ・介護施設での悲惨なニュースも耳にする。職員も大変な仕事をしており、メンタルヘルスの対策が必要だと感じた。

地域とのかかわり

- ・地域に開かれた施設となってもらいたいため、地域からも多くの人がかかわっていけるとよい。

【地域連携推進員からの質問】

- ・現在2人部屋の居室は将来的に一人部屋にしていく予定があるか？
→今後、すべての居室を個室化としていく予定
- ・車いす乗車時に身体拘束をされている利用者の方がいた。車いすのブレーキもかかっていなかったが、意図があつてのことか？
→当該利用者の方は異食がある方で、再度異食があった場合、開腹手術ができず生命に関わる可能性がある。このため、ご家族への相談と説明・同意のうえ時間や場面を限定して身体拘束を実施している。
→車いす乗車時は、自分の足で移動ができるため、車いすのブレーキはかけず過ごしていただいている。